

# 日奈久っ子



八代市立日奈久小学校  
学校便り 第19号  
令和2年12月24日発行  
文責 中村

3つのいっぱい「えがお・やるき・げんき」

## 心優しい日奈久っ子! 2学期さらに成長しました!!

2学期が終了しました。新型コロナウイルス感染症と向き合いながらの学校生活で、思い通りにならないことも多い2学期でした。そんな中でも、いえ、そんな中だからこそかもしれません。

子供達は、心も頭も体もしっかりと成長しています。一人一人の通知表を見せていただきましたが、どの子も良さを伸ばし、苦手を克服しようとする努力をしていたことを感じました、それを支えていただいた担任の先生を始めとする日奈久小の先生方そして何より保護者の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、この2学期は、八竜小学校と4ヶ月余り同じ校舎で過ごすという体験をしました。この体験の中で、私が最も感じたのは、日奈久の子供達、日奈久地域の皆様の優しさと温かさでした。

5、6年生には、3階教室を八竜小に空けてもらいましたが、八竜小が元の学校に戻られる引っ越しの時、八竜小の保護者の皆さんが、日奈久小の5、6年生の荷物を2階から元の3階教室に運びながら「八竜がここに来た時も、こんなに大きな荷物をたくさん移動してもらったんだと思うとほんと、ありがたかったねえ。」とロ々に話しておられました。

10月23日には八竜小学校の運動会が日奈久小学校の運動場でありました。その時には八代地域の総合型スポーツクラブの皆さんがお手伝いをして下さいました。その他にも、日奈久地域の方は「いちごの苗植え」や「ちくわ焼きの体験」を八竜の子供達のために企画して下さいました。

運動会が終わった後、八竜小学校のPTA会長さんが、わざわざ職員室まで来られて、「ありがとうございました。子供達を見てとても感動しました。」と目を潤ませながら喜びと感謝を伝えて下さいました。



手を振る子供達

12月11日は合同の持久走大会でした。当日は日奈久小の子供達も八竜小の子供達も、いつも以上にとてもはりきっているようでした。保護者の皆様もたくさんの応援ありがとうございました。八竜小の保護者や日奈久校区の方も集まって下さり、ここ数年で、一番盛り上がった持久走大会だったなあと思いました。そして、最後に、うららさんが日奈久小みんなの思いをお別れの言葉として伝えてくれました。

八竜小学校が、最後に日奈久小を離れる時、まだ学校にいた3年～6年は、校舎のベランダから八竜小の子供に手を振りお別れをしました。それを見た八竜小の先生方は、涙されたと後でお聞きしました。

この4ヶ月余りの出来事から得たものは、両校にとって大きかったと思います。日奈久小も八竜小もこれからも笑顔で元気にがんばりましょう。



八竜からのメッセージ

## 冬休み、健康に気をつけて楽しく過ごしましょう～感染症対策の徹底を

新型コロナウイルス感染症の拡大は、都市部のみならず全国的に広がりを見せており、熊本でも県リスクレベルがレベル5になって、さらに本市立学校での感染者も確認されています。医療機関が逼迫した状況も伝えられ、心配な状況です。

今年の冬休みは、感染を抑えるために、いつもの冬休みとは違う過ごし方をしなければなりません。どうぞ皆様、命を守るための行動をとっていただきますようお願いいたします。

御家族皆様、どうか健康で、楽しい年末年始をお過ごし下さい。



